

追加調査における自由記載一覧

I. 専門性（サブスペシャリティ）の習得

設問：あなたは自らの専門性を高めたいと思います（思いました）か

回答：

- ・わからない—現実的にはジェネラリストであることが求められます。

設問：あなたは産婦人科専門医以外の専門医や認定医、指導医などを習得するつもりですか

- ・わからない
 - 時間が出来れば取得したい
 - 希望はありますが、状況的に無理かと思えます。

設問：あなたがサブスペシャリティを習得するために、障害となることはありますか。それはどうすれば解決できるでしょうか。ご意見をお願いします。

回答：

- ・症例数を集めるのがむずかしい。
- ・障害はほとんどありません。残っている人たちで部長職代行ができるかどうかだけです。
- ・開業で平日は毎日診療中。代診を頼む必要あり。
- ・家族、身内の協力が得られること。家族、身内の協力がなければ、育児中のサブスペシャリティの習得は不可能だと思います。
- ・開業医で365日待機状態なので無理です。
- ・現在の勤務場所の理解。短期間である程度集中的にトレーニングできるプログラム。
- ・人数が二人体制なので、出向すると病院が機能しない。部長が優先的に学会に行くため、どうしても行くことはできない。
- ・共働き（夫 医師）のため、どちらかが仕事をセーブしなければならない。子供のために急に仕事を休むことがあるため、責任のある仕事につけない。今は子供が小さいため仕方ないと思います。いつか本格的に復帰する時まで少しでも支障がないように仕事ができればいいと思います。
- ・育児、託児施設の充実、家族の協力。
- ・やる気があれば出来そうですが。土・日の託児所（学会開催場所）はありがたいでしょう。でも、子供の性格によります。あれば預けられるというものではありません。
- ・ジェネラリストとして働いてきた期間が長く、モチベーションに乏しいです。解決方法は発想の転換でしょうか。
- ・子供の病気などの緊急時に、家を出られなくなってしまうことがこまる。病児保育をいつでも受け入れてもらえる所（保育所・ベビーシッター）があるとよい。

II. 将来の進路・展望

設問：あなたは大学病院勤務を続けたい（続けたかった）ですか

回答：

- ・わからない—大学勤務当時は続けたいと思っていました

設問：あなたが自ら望む進路を決めるために、障害となることはありますか。それはどうすれば解決できるでしょうか。ご意見をお願いします。

回答：

- ・家族を持つ以上、独身医師と同じ仕事量をこなす事は、事実上無理と思います。しかし、医師の仕事は長くできる仕事で、30~40年のスパンを考えて仕事をすればよい。一時的に歩みが遅くなってもコツコツ持続的に努力する姿勢を忘れなければ、望む進路は開けてくると思います。
- ・身内の理解と協力がなければ継続できないと思います。
- ・ないです。強いて言うなら結婚。
- ・子供が小学生であり、1人で出向したりすることはできない。主人の勤務のこともあり自由にはいかない。
- ・育児。子供が成長するまでは難しいと思う。
- ・分娩は大好きでしたが、やはりむずかしいです。夜もかけつけられる状態でないと責任が持てないというか。自分で「元気な赤ちゃんをうんでもらう」まで診察させてもらう。その意気込みでないと、きちんと見れないというところもあると思います。ローテーションで医師が入れかわって、患者さんが安心できるでしょうか。開業医さんに患者さんが集まるのは、医師を信頼しているからでしょう。子供が巣立ったら、またやってみたいです。C/Sのリハビリが必要ですが。子育てが終わった女医さんを雇ってもらうというのはどうでしょう。
- ・本人の確固たる意志。夫および家族の理解と協力。

III. 滋賀県の周産期医療体制の維持

設問：専攻医を指導する意欲がありますか

回答：

- ・わからない
—自身が専門医取得前なので

設問：産後8週後の育児休暇（無給）の期間はどのくらい必要だと思いますか。

回答：

- ・育児休暇は必要ない—勤務時間短縮は必要

設問：夜間保育があれば当直をできると思いますか

回答：

- ・いいえ—子供の年齢によると思います
- ・わからない
—子供の性格によってはできるかも
—子供によります

設問：病児保育があれば予定の就労時間を守れると思いますか

回答：

- ・はい—が、子供の状態が心配なので、できれば休みたいと思う
- ・わからない—病状による

設問：あなたは何歳まで分娩を取り扱います（取り扱いました）か

回答：

- ・命あるかぎり

設問：あなたが勤めるならどちらの病院がよいですか

回答

- ・少人数で忙しくない病院—50代以降
多人数で忙しい病院—30～40代

設問：あなたが長く仕事を続けるために、あるいは責任ある立場を全うするために障害となることはありますか。それはどうすれば解決できるでしょうか。ご意見をお願いします。

回答：

- ・モチベーションの低下・消失
- ・健康の維持
- ・身内の無理解　これが克服でき、なおかつ協力が得られなければ、職務はまっとうできないと思います。
- ・障害は結婚。解決は離婚。
- ・職場や上司の理解、夫の協力。
- ・育児がある程度落ち着くまでは、短時間勤務をできる環境が欲しい。
- ・子供を育てながら雇われるのは難しい。（子供にも雇い主にも気を回さなければ。もちろん患者さんにも）子供をそばに置き、自分のできる範囲で医療を提供するオフィスギネコロジーを開設する。
- ・子供はいませんが、老親はいて、あてにされているので実家から遠距離の所では長期間働きにくいです。

・家族の健康（子供の病気、親の介護、自身の健康）これがうまくいかないとフルでの仕事は無理です。

IV. 滋賀県の女性医師対策

設問：休日・夜間の出勤や緊急出動時において、個別に保育を依頼した場合の費用の一部を負担する

回答：

・わからない—費用ではなく、すぐにシッターや保育を依頼できる環境がいいと思います。

設問：結婚や出産のために（離職して）臨床から離れている女性医師の県内病院への復帰に対して120万円を貸与する

回答：

・有効ではないと思う—お金で動くことはないのでは？

設問：その他ご意見がありましたらご自由にどうぞ

回答：

・普段、子供をみてもらっていないところに緊急（飛びこみ）で子供を預けることは抵抗があるのと、そういう都合のよい時間に急に預け先が確保できることが想像しがたい。

・今、週4日8:30~16:30（週3総合病院 外来・ope 手伝い・ベッドフリー、週1不妊クリニック）で働いています。共働き、実家遠方のため、実質子供を1人でみています。本当は、オペもしたいし、ベッドももちたいのですが、緊急の時に病院にいけないので、患者さん他Drのご迷惑を考えるとできません。正直なところ、子供の面倒は自分でみたいという希望もあります（病気の時など）。今は仕方ないと思います。子供が大きくなり、フルで仕事ができるようになれば、やりたいことをやっていきたいと思います。このような機会を与えて下さりありがとうございました。

・女性医師の復帰が難しい最大の要因は、やはり育児だと思う。そのためには、保育体制の充実が必要であるが、男性医師の不公平感があるので、女性医師（同じ境遇にある）を複数同じ施設に集めて、時間でシフトを組んでつなげていくと働きやすいと思う。（大阪の病院で実際やっているところがあるが、これは働きやすいと思った。）